

「プロ社会人養成アカデミー 第2回」

第1回

<開催日時>

2019年2月2日(土) 14:00 ~ 16:30

<内容>

「日々の時事問題から何をどう考えるか ～世の中の過去から未来への流れをつかむ～」



事前課題 : 気になるニュース記事をピックアップ。

特に疑問に思う箇所、わからない箇所にマークをして持参。

マークの仕方(信号機の色のように)

- ・理解できる箇所 → 青
- ・疑問に感じる。確認あるいは自分で調べてみる必要あり → 黄
- ・わからない → 赤

(例) フィリピンにて政権を批判する記事を発信している記者に対して圧力がかかっている

強権 民主主義の危機

フィリピン・ドゥテルテ政権と戦う記者

民主主義の土台の一つを自ら「権威の自由」が脅かされている。憲政者の意図が汲み取れず、国民の敵と指図され、記者は時に命を奪われる。一歩の進化で、旧来の報道機関は足元が揺る。競争するメディアは、世界はより向かい合う。抑圧にも批判を求め、昨年、米誌タイムの「今年の人」に選ばれた「ニュースサイト」ラップラーの編集長兼責任者(CFO) マリア・レスサさん(66)は「今、敗北なければ民主主義が脅かされてしまう」と訴える。

権力乱用 取り込まれてはならぬ

「言論の自由」を抑えるために「言論の自由」を使え、法律まで武器とする。レスサさんは、政府のやり口に憤りを覚える。ドゥテルテ大統領就任から三方目余り過ぎた(2019年10月、ラップラーは、世界で最も危険な仕事をする場所として選ばれる)。

タイム誌今年の人「レスサさん」

ドゥテルテ政権の覆滅に向けて、記者が奮闘している。レスサさんは「賞金懸賞」で、他社も利用している方法で、現在正しく納めていく。狙いは「対立」や、政府が公表する死者数を、正確に疑問を投げかけた。ドゥテルテ政権の覆滅に向けて、記者が奮闘している。レスサさんは「賞金懸賞」で、他社も利用している方法で、現在正しく納めていく。狙いは「対立」や、政府が公表する死者数を、正確に疑問を投げかけた。

この1年の報道の自由をめぐる動き	
2月	マフィアと世界の脅威を調べていたスロバキアの男性ジャーナリストが殺害
6月	米アボリシの新聞社編者無差別殺害、5人死亡
7月	トランプ米大統領のメディア攻撃に米紙が社説で一斉反論
8月	ロビンジャーの現行を巡りマンマのロイター記者2人に実刑判決
10月	シリアで拘束されていた安田知平さんが解放される
11月	サウジアラビアの著名記者カショギ氏がトルコのサウジ大使館で殺害
11月	米CNN記者がホワイトハウス出入り禁止

黄色: 「情報の門番であった記者を素通りし、ソーシャルメディアを操って力を得る」
→ 国のトップの声を直接聞く機会を得ることは決して悪いことではない。むしろ歓迎したい。
何が問題になってしまうのだろうか?

当 日 : ・記事をもとにグループでディスカッション。

「なぜその事柄が気になるのか、疑問に思うのか」など。

→ 藤原直哉講師との質疑応答

・藤原直哉講師講演

「日々の時事問題から何をどう考えるか」(仮題)

日々の情報の中で大事と思われる情報の見抜き方

世の中が過去から現在、未来へとどう流れているか など。

・新たな視点も含めて再度ディスカッション。発表。

<会 場>

TKP 新橋汐留ビジネスセンター B201 (地下 2 階)

〒105-0004 東京都港区新橋 4-24-8 2 東洋海事ビル

以下が地図となります。

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/st-shimbashi/access/>

<参 加 費> お申し込み後に請求書をメールでお送りいたします。

10,800 円 (税込) 【ペアでお申し込みの場合、お二人で 10,800 円】

<お申し込み方法>

E メール・お申し込みフォームにてお申し込みください。

✉ info@aeruba.co.jp

📱 <https://goo.gl/Na3Fc5>

E メールにてお申し込みの場合は本文に、氏名 (複数の場合は全員分)・ご住所・当日連絡のとれる電話番号、を明記いただき左記アドレスまでお送りください。お申し込みフォームの場合は左記 URL にアクセスしてください。

<以降の日程>

遠山郷「木沢のお茶」プロジェクト：皆の力で限界集落の緑茶を製品にしよう！

3 月 30 ~ 31 日(土日) : 長野県遠山郷訪問+茶園にて作業

遠山郷のお茶商品作り会議

遠山郷社会人研修「藤原直哉の学びのカフェ」参加者

および地元の方との交流

